

ブドウ「ルビーロマン」の果梗部色見本の作成

1 背景・目的

「ルビーロマン」では、果粒の先端側がルビーロマン専用カラーチャートで出荷基準の3~4となっても、糖度が規格外(18度未満)となる場合がある。そこで、果粒の付け根側(果梗部)の着色程度と果粒糖度との関係を明らかにし、専用カラーチャートを補完する果梗部色見本を作成した。

2 技術のポイント

- (1) 果梗部の色見本を作成(図1)。
- (2) 果梗部の色見本が3~5のとき、果粒の糖度が概ね18度を超える(図2)。
- (3) 満開後80日以降に果粒の先端側が専用カラーチャートで3~4であることを確認し、果房の隙間から果梗部の色見本で比色する。



図1 果梗部の色見本*

※果梗部の赤色の着色程度を1~5番で表す。

着色程度は、下記を目安とする。

- 「1:全面が不着色」
- 「2:着色部が4割」
- 「3:着色部が6割」
- 「4:着色部が8割」
- 「5:全面が着色」

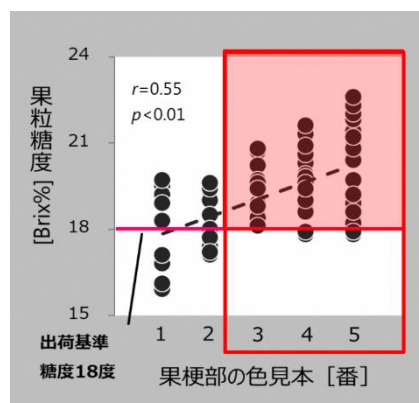


図2 果梗部の色見本と果粒糖度の関係

3 成果の活用と留意点

- (1) 果梗部の色見本が1~2のときは、糖度が18度未満となる確率が高くなる。
- (2) 満開後80日以降の果房に果梗部の色見本を使用する。

問合せ先:砂丘地農業研究センター TEL076-283-0073

担当者:西山 駿・高山 典雄・山内 大輔・本多 梨紗